



くすのき

くすのき

令和7年度 第12号
令和8年3月18日
大府市立吉田小学校

学校評価結果のお知らせ

12月に行った「学校評価」の集計結果がまとまりました。4年生～6年生児童対象に実施した「学校生活アンケート」の結果と保護者・教員に行ったアンケート結果の中から、特徴的な項目を取り上げてお知らせします。（結果の詳細はホームページをご覧ください）

I. 児童アンケート 意欲と人間関係は向上し、生活面に課題

令和6年度から7年度の変化で、特に「目標に向かって頑張る気持ち」「学級の人間関係」「環境を大切に作る心」がよくなりました。一方で、「基本的な生活習慣」や「読書」については良い回答が減っており、これからの課題です。

1. 向上した項目

- ・目標設定と実行力：「きらきらチャレンジウィーク」で自ら決めた目標に取り組んでいる児童は 20.9% から 33.9% へと13ポイント増加しました。（設問14）
- ・環境への意識：環境問題を日頃から意識している児童は 18.1% から 29.8% へと11.7ポイント増加し、意識が少しずつ高まっています。（設問6）
- ・学級内の人間関係：「学級の人たちと仲良くしている」と答えた児童は 52.2% から 63.1% へと10.9ポイント上昇しました。（設問20）
- ・活動への意欲：係活動や給食当番に自ら取り組む児童（54.2%）や、将来の夢を持つ児童（55.4%）も、それぞれ 7.5ポイント、6.5ポイント増加しています。（設問5・設問21）

2. 課題とされる項目（数値が下がったところ）

- ・基本的な生活習慣の乱れ：「早寝早起き朝ごはん」を心がけている児童は 34.1% から 29.8% へと減少しました。（設問7）
- ・読書習慣：読書が「好き」と答えた児童は 42.3% から 38.1% に減少しました。（設問19）
- ・あいさつ：進んであいさつをする児童は 50.0% から 48.8% へとわずかに減少しています。（設問4）

3. 学習面と安全意識の傾向

- ・主要教科（国語・算数・理科・社会）の全てで「授業が分かる」と答える児童が着実に増加しています（設問15～18）。
- ・命を守る意識（77.4%）や体力づくり（46.4%）も良くなっています。（設問12・設問8）

II. 保護者アンケート 情報発信や安全対策を高く評価

令和6年度と比較し、「学校からのお知らせ」「PTA活動」「安全対策」において、一番高い評価が10ポイント前後急増しました。

1. 向上した項目（+10ポイント前後）

- ・情報発信：HPや学校だよりの分かりやすさが 28.8% から 40.2% へと大幅に増加しました。（設問17）
- ・PTA活動：活動の積極性が 17.7% から 29.1% へと増加しました。（設問19）
- ・安全・マナー：社会のルール・マナー指導（41.7%）や、学校の安全確保（40.7%）への評価も高まっています。（設問11, 12）

2. 課題とされる項目

規則正しい生活ができているという回答が増え、否定的な回答が半減した一方で、家庭での「チャレンジウィーク」への取り組みについては、否定的な回答が 43.7% へと増加しました。取り組み方の見直しが必要です。(設問 7・設問 14)

Ⅲ. 教職員アンケート 心身のケアを重視し、外部連携が低下

教職員の意識は、「児童の心身のケア」や「危機管理」をより大切にする方向へ変化しています。

1. 大幅に向上した項目

- ・健全な心と健康な体の育成：22.2% から 72.0% へと、約 50 ポイントという劇的な上昇を見せました。(設問 8)
- ・危機管理・働き方改革：緊急事態への備え (44.0%) や、業務改善 (48.0%) への意識が高まっています。(設問 21・設問 23)

2. 課題とされる項目

「特色ある学校づくり」や「家庭・地域との連携」に関する数値が以前より低くなっています。(設問 13・設問 15)

Ⅳ. 3者の比較 認識の違いとこれからの対策

児童、保護者、教職員の間で、評価に大きな差が見られたのは以下の3項目です。

評価項目	児童	保護者	教職員	最大の評価差
(3) 先生は困ったときに相談にのってくれる	48.2%	30.2%	64.0%	33.8pt (教職員と保護者)
(8) 体力づくり	46.4%	35.7%	72.0%	36.3pt (教職員と保護者)
(12) 交通安全	77.4%	40.7%	52.0%	36.7pt (児童と保護者)

1. なぜ評価が違うのか

- ・(3) (8) について：教職員は「学校での指導」を評価し、保護者は「家庭での実態」を見ているため、視点の違いが差となっていると考えられます。保護者側には学校での指導内容が十分に伝わっていない、あるいは満足いく対応とは捉えられていない、家庭と学校の間で情報共有が不足している可能性があります。
- ・(12) について：児童は活動に手応えを感じているが、保護者の視点からは依然として不安や課題が多いと感じられている状況が伺えます。

2. 学校評議員より

- ・交通安全や体力づくり等、アンケートで乖離が見られた項目の取り組みについて、学校で丁寧な指導に努め、その内容を「見える化」する。
- ・現在、キラキラチャレンジウィークは実施すること自体が目的化し、中学生に近づくほど形骸化している。単なる自己満足に終わらせず、デジタルの活用 (Home & School アプリ等) により、優れた取り組みを保護者へ発信する「発表の場」を設けるべきである。これにより、児童のモチベーションと保護者の認知度を同時に向上させる。

3. 今後の対策

今後は、学校での指導内容や、教職員が児童を応援した際のエピソードを具体的に家庭へ伝えていきたいと考えています。学校と家庭が「同じ基準」でこどもを褒めたり指導したりできる体制を整え、家庭との話題作りと学校への信頼を高めていきたいです。また、吉田小学校の恵まれた環境を生かし、特色ある学びができる教育活動の工夫に努めます。

保護者の皆様からのご意見集

保護者の皆様からいただいた貴重なご意見をまとめました。

この報告書は、「感謝と励まし」「学校生活をより良くする提案」「安全・安心な環境づくり」という3つの柱に沿って構成されています。

I 感謝と励ましのお言葉

皆様からの温かいお言葉は、教職員のやる気を支え、学校の強みを再確認するための大切な力になります。

(1) 一人一人を大切にする指導

「先生が温かく背中を押してくださることで、こどもがこれまで苦手としていたことにも意欲的に挑戦するようになった」という声をいただきました。また、「毎日子供達の個性を大切にし、学ばせてくださって、ありがとうございます」といった感謝のお言葉もいただきました。児童一人一人のもつ長所に目を向け、その個性を尊重する姿勢を大切にしていきます。

(2) 安心できる学校環境

教職員が児童を理解していることが、保護者の安心感につながっています。「1年1年のこどもの成長を楽しみにできる学校だと感じています」というというお声をいただきました。

問題発生時に、一方的な視点ではなく関係するこどもたち双方から丁寧に話を聞く対応を続けていきます。

(3) 充実した教育活動

校外学習や飼育活動、委員会によるイベントや読み聞かせといった多様な体験活動に対し、「吉田小学校歴2年、親子でどんどん吉田小学校が好きになっています！」という声に代表されるように、児童が学校を心から楽しんでいる様子が伝わっています。

(4) 学校からの情報発信

校長が学校だよりで発信するメッセージやウェブサイトでの発信が、学校の様子を分かりやすく伝え、保護者の皆様の安心感につながっているとのご意見をいただきました。

II 学校生活をさらに充実させるための提案

現状に満足せず、さらに良い学校にするための前向きなご提案をいただきました。

(1) 学校行事の改善

運動会での「狐ダンス」などは好評でした。一方で、「応援席から児童席が遠い」「通路が狭くて危ない」といったご意見をいただいた点については、来年度の計画で見直していきます。

(2) 授業参観の工夫

出前授業やブドウ農園の見学といった特別な学習活動を参観できる機会は高く評価されています。「複数クラスで授業時間が異なる場合、時間割を事前に共有してほしい」という要望が寄せられました。今後は、連絡帳やHome&Schoolでお知らせいたします。

(3) 学びや活動の広がり

道徳の時間に親子で一緒に考える機会を作ることや、クラブ活動を増やしてほしいというご意見をいただきました。現在、大府市の取り組みで週2回、授業後にカルスポによる活動が行われています。運動系と文科系の2つがあります。また、地域スポーツの活動も多く行われています。ぜひそうした活動への参加もご検討ください。

(4) 協力の場

「学校のためにお手伝いできることがあれば協力したい」というご意見もいただきました。PTA活動でも、毎年草刈りボランティアを募集しております。校外学習時に付き添いボランティア等、今後ともご協力をお願いしていく予定です。

Ⅲ 安全・安心な学校環境をつくるための意見

児童の安全を守ることは、学校の最も重要な責任です。

(1) 通学路の交通安全

個人懇談の時期などに、学校近くでの路上駐車が危険だという指摘がありました。今後は関係機関に相談していきます。公民館の駐車場をお借りしているので、ご利用ください。

(2) 校門の設置について

不審者情報や部外者の敷地内通行といった具体的な事例を挙げ、不審者の侵入などを防ぐため、「学校に門を作ってほしい」という要望が複数寄せられました。すぐに設置するのは難しいため、大府市教育委員会に要望を伝えつつ、当面は「訪問者に名札をつけてもらう」「知らない人には教職員が積極的に声をかける」といった対策を徹底します。

Ⅳ 今後に向けて

いただいた意見を分析し、次の3つの視点を大切にしていきます。

(1) 信頼関係を築く

感謝の声と並行して、「不信感がある」という厳しいご意見、そして「先生と児童が信頼しあえる環境をお願いします」というご要望も寄せられました。不安や不信感を解消し、全ての家庭としっかり信頼し合える環境をつくります。

(2) 学校の個性を活かす

「小規模校の利点を生かしてほしい」「異学年との縦の繋がりを活動に取り入れてほしい」といったご意見もいただきました。少人数の学校だからこそできる、学年を越えた交流などを大切にし、吉田小学校ならではの魅力を伸ばします。

(3) 学びの本質を大切にする

「学ぶことが楽しいと思ってもらいたい」というご意見は、本校の目指す「学校はおもしろい!」にも通じるものです。ただ知識を覚えるだけでなく、児童の皆さんが「学ぶことは楽しい!」と思えるような授業を目指します。

保護者の皆様からいただいた一つ一つの声を来年度の計画にしっかり反映させ、地域の方々と協力して、児童の健やかな成長のために全力を尽くしてまいります。貴重な意見をいただき、ありがとうございました。